

こまつだにしやうりんじ
小松谷正林寺は大仏殿の東北にあり、宗旨は浄土、開基は恵空上人なり、本堂は殿舎造りにして九条殿よりの御寄付とぞ。壇上には円光大師の像を安置す、南の方に阿弥陀堂あり、楼門の額は九条関白尚実公の御筆なり、明和年中にかくる所なり。此地はむかし月輪禪定兼実公の御所なり、小松殿といふ。法然上人此殿の御堂におはしましけると黒谷伝記にあり。

千年ふる小松のもとをすみかにて無量寿仏の迎へをぞまつ 源 空 上 人

此所より西人家の北の方に谷あり、是を小松谷といふ、小松内大臣重盛公の山荘にして、燈籠堂の地なり。〔委は盛衰記にあり〕